

オオタバコガ情報第1号

平成21年9月1日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除グループ

1 発生及び被害概況

オオタバコガは、キクを始め花きや野菜を加害する害虫で、雑草、各種野菜類やダイズなどで増殖します。キクでは9月に開花する作型で最も被害が多くなります。

2 フェロモントラップにおける誘殺状況

キクほ場に設置したフェロモントラップの誘殺状況を見ると、稲沢市では、6月以降平年よりやや多い誘殺数で推移し、7月第1半旬に107頭、8月第1半旬に130頭誘殺され2回の発生ピークが認められました。豊川市でも同様の傾向で、7月第2半旬と、8月第3半旬にそれぞれ18頭誘殺されました(図)。なお、キャベツほ場に設置したフェロモントラップの誘殺数は8月下旬現在、平年よりやや少なくなっています。

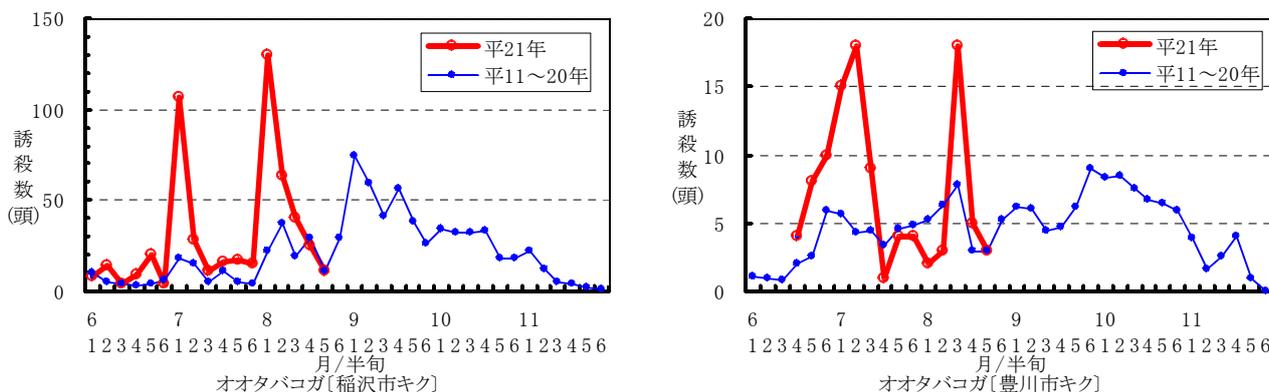


図 オオタバコガのフェロモントラップにおける誘殺状況

3 今後の予測

9月の気象予報によれば気温が高いと予想されるため、9月以降の成虫の発生も多くなると予測されます。

4 防除対策

- (1) キクでは加害されると芯止まりとなり、商品価値がなくなるので、早期発見、早期防除に努めましょう。
- (2) キャベツの苗床では、成虫の侵入を防止するため、防虫ネットで被覆しましょう。
- (3) 薬剤感受性が低下しないように、同一系統の薬剤を連用しないようにしましょう。

表 オオタバコガに対する主な防除薬剤と使用基準

作物	薬剤名	薬剤の系統 ^{注)}	希釈倍数(倍)	使用時期	
				収穫前日数	使用回数
キク	ラービフロアブル	a	1,000	発生初期	6回以内
	オルトラン水和剤	b	1,000	発生初期	5回以内
	ロムダンフロアブル	c	1,000	発生初期	5回以内
	ライトニング	d	2,000	発生初期	4回以内
	デルフィン顆粒水和剤	e	1,000	発生初期	4回以内
	プレオフロアブル	f	1,000	発生初期	2回以内
	スピノエース顆粒水和剤	g	2,500~5,000	発生初期	2回以内
	キャベツ	エスマルクDF	e	1,000	発生初期但し収穫前日まで
ファルコンフロアブル		c	2,000	収穫7日前まで	2回以内
プレオフロアブル		f	1,000	収穫7日前まで	2回以内
コテツフロアブル		h	2,000	収穫3日前まで	2回以内
フェニックス顆粒水和剤		i	2,000	収穫前日まで	3回以内

注) 薬剤の系統 a=カーバメート系、b=有機りん系、c=IGR剤(脱皮促進)、d=オキサダイアジン系、e=BT剤、f=プロペニルオキシフェニル系、g=スピノシン系、h=呼吸阻害剤、i=ベンゼンジカルボキサミド系